

天皇・伊勢神宮の祭りと歴史

研究の概要

- 日本列島は豊かな自然に恵まれている反面、古代より自然災害が多く、列島の人々は地域の安全や食物の豊かさを願って祭りを行ってきました。なぜ神々への信仰と祭りが現在にまで継続してつながってきたのか、その理由や歴史的経緯の解明を目的としています。
- 天皇の御代替わりには大嘗祭という特別な祭りが行われ、毎年11月23日には宮中で新嘗祭が行われています。この天皇の祭りは古代からの古い歴史がありますが、なぜ天皇は祭りを行い続けてきたのか、祈りの目的とは何か、祭りの具体的な内容と歴史について研究しています。
- 天皇の祭りは伊勢神宮に鎮座する天照大御神に対して行われてきました。伊勢神宮の祭りも古代からの歴史があり、20年に1度、お宮を新しくして大神をお遷しする式年遷宮が行われ続け、江戸時代には多くの参拝者が伊勢を訪れました。天皇の崇敬から庶民の参拝まで、伊勢に人を惹きつける磁力の根源とは何なのか、祭りのあり方とその歴史から解明することを目的としています。



式年遷宮の遷御の儀式



令和の大嘗宮

キーワード



- 天皇の祭りはなぜ続けられてきたのか。天皇の祈りとは何か。
- なぜ伊勢神宮は人々の信仰を集めてきたのか。式年遷宮が重要視され続けてきたのはなぜか。
- なぜ神社は今日まで存在し続けたのか。信仰の根源と神話伝承。

連携アピール



- 伊勢神宮には天照大御神を祭る内宮だけでなく、豊受大御神を祭る外宮や、様々な別宮、神社があります。それぞれの由緒や意義、歴史・地域性について解説することができます。
- 伊勢神宮からやや離れた明和町に斎宮があり、未婚の皇女を遣わす慣例がありました。斎王の祭りと存在意義について解説することができます。
- 天皇・皇室の概要や歴史と祭りについて解説することができます。

研究者



塩川

SHIOKAWA

哲朗

Tetsurō

准教授 博士（宗教学）



研究開発推進センター 神道研究所

